

普及活動情勢報告（令和6年12月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

農福連携を進めよう！

～四万十ふくふくまつりでの出荷調製作業体験会を開催～



ニラとミョウガの出荷調製作業を体験

12月7日、四万十町役場で開催された福祉イベント「四万十ふくふくまつり」において、普及所は昨年に続きニラとミョウガの出荷調製作業体験会を実施しました。

体験会には福祉や農業関係者だけでなく幅広い層の参加があり、アンケートでは「労働力不足が問われている今、農福連携のさらなる発展を期待している」「体験で学べることができてよかった。農福連携推進には今後もこういった取組が必要」などの回答がありました。

普及所では農福連携の推進に向け、継続して勉強会や体験会の開催などに取り組んでいきます。

ハウスの防寒対策はできていますか？

～JA高知県四万十ニラ部会支部会～



現地検討会で栽培状況を確認

11月27日から12月23日にかけて、JA高知県四万十ニラ部会の支部会が4地区で開催され、生産者30名が参加しました。

支部会では今年の株養成時期の振り返りや出荷状況についてJAから説明がありました。普及所からは、厳寒期に向けたハウス内の防寒対策について情報提供しました。

生産者からは「急に寒くなり冬支度ができていなかったため参考にする」「カーテン資材の導入を検討したい」などの意見が聞かれました。

普及所では、関係機関と協力して高品質なニラの安定生産を支援します。

今作を振り返ろう！

～JA高知県四万十夏秋ピーマン部会反省会～



反省会では活発な意見交換を実施

12月12日にJA高知県四万十夏秋ピーマン部会の反省会が開催され、生産者30名が参加しました。

JAからは今作の栽培状況や出荷、販売状況について報告がありました。普及所からは、高温対策および土壌病害対策について情報提供を行いました。

参加者からは、「高温対策の導入をこれから検討してみる」「土壌病害対策は、資料以外の簡易な方法は無いのか？」といった意見や質問がありました。

普及所では、変化していく栽培環境に対応した指導を行っていきます。

今年のショウガ栽培は大変やったね ～JA高知県四万十生姜部会反省会～



土壌病害対策について報告

12月20日にJA高知県四万十生姜部会の反省会が開催され、生産者18名が参加しました。反省会に合わせて、JA高知県仁淀川営農経済センターの営農指導員を招き、他産地での土壌病害対策について勉強会を行いました。

JAからは今作の栽培状況を振り返り、植付け時期の長雨や夏期の高温乾燥の影響で減収し、厳しい結果になったとの報告がありました。普及所からは、土壌病害対策として実証中の土壌還元消毒について情報提供を行いました。

参加者からは、「土壌還元消毒のかん水をどのようにすれば良いのか、被覆は必要か」といった前向きな質問があり、今後の土壌病害対策へ繋げていきたいと考えています。

普及所では次作に向けてJAと連携しながら、ショウガの増収及び歩留まり率向上に取り組んでいきます。

来年度は高温対策に取り組むぞ！ ～JA高知県大正園芸部ししとう反省会～



夏場の高温対策を説明

12月23日に令和6年度JA高知県大正園芸部ししとう反省会が開催され、生産者5名が参加しました。

JAからは今作の出荷実績および販売量についての振り返りや、西部地区産業祭での非辛みシシトウの食味アンケート結果について報告がありました。普及所からは、高温対策やSAWACHIの紹介、非辛みシシトウの栽培方法について情報提供を行いました。

生産者からは「高温対策を今後しっかり行っていきたいが、経費や労力との兼ね合いも考える必要がある」など活発な意見交換が行われました。

今後も普及所はJAと連携しながら、環境に応じた栽培指導により、シシトウの収量向上に取り組んでいきます。